

OKI 富岡

派遣200人契約終了通知

(上毛 2022.5.11)

月末で 操業計画見直しと

沖電気工業（OKI、東京都港区）の生産子会社、OKI富岡マニユファクチャリング（富岡市富岡）が約200人の派遣社員との契約を5月末で終了すると通知したことが10日、関係者への取材で分かった。

OKIによると、今月末の契約満了に合わせ、その1カ月以上前に派遣会社に契約を更新しないことを伝えました。半導体部品の入手が停滞し、操業計画を見直す必要が生じたことが理由という。

労働基準法では、契約を更新しない場合には満了日の30日前までに予告することが必要とされており、OKIは「法律に基づいて対応している」としています。

OKIは昨年4月の機構改革で富岡工場の機能をOKI富岡マニユファクチャリングに移管し、従業員も転籍した。同社では現金自動預払機（ATM）を製造している。関連産業の労働者が加盟する電機・情報ユニオン群馬支部は「半導体不足は他の会社も同じ。違法ではないかもしれないが、従業員には不安が広がっている」と主張している。

（丸山卓郎）